

学校だより

しらかわ



飯豊町立添川小学校

2020. 9. 1

いきいき なかよく ほこりを持って 第9号

「学校生活アンケート」ありがとうございました

保護者の皆様には1学期に「学校生活アンケート」をいただき、誠にありがとうございました。

詳細については、例年のとおり年間を通して報告させていただきますが、「生活」「学習」「安全や健康」「家庭生活」「学校」のいずれの設問も、評価の上下は昨年と比較して1～2名以内でしたので、全体的には昨年同様の傾向だと解釈できました。

コロナ禍の中で、昨年とちがう結果が出ているのは、下の表です。昨年の7月結果と比べると、今年度は「学習指導」をはじめ「体力向上」「文化活動」「健康・安全教育」「読書活動」など、保護者の皆様の学校へのニーズが幅広くなっていることがうかがえます。いっそう一つ一つの教育活動にしていねいに取り組んでいく必要があると感じています。なお、「学校運営についての御意見」にいくつかお応えいたします。今後とも学校運営に対しまして、ご理解とご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

- ◎ 新しい感染症が発生し、初めての環境に右往左往で本当に大変かと思いますが、よろしくお願い致します。
→ ありがとうございます。誠心誠意努めてまいります。お気づきの点は学校に教えてください。
- ◎ 未だに担任の先生とお会いしたことがありません。お会いできる機会があればいいなと思っています。
→ 保護者面談を開始させていただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございます。
- ◎ 子ども達が楽しく安全な学校運営、ありがとうございます。緊急連絡はメール・電話でお願いします。
→ 状況や必要に応じて対応していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。
- ◎ リモート学習ができるよう対応よろしくお願い致します。
→ 今後の大切な課題であると考えております。準備を進めてまいります。
- ◎ ブログを通して子ども達の様子を知ることができるので、もう少し更新回数を増やしてほしいです。
→ 可能な限り努めていきたいと思っておりますが、日々の更新が困難な時期は、どうかお許しください。

学校の指導で更に力を入れてほしいことはどんなことですか。 (ア～コの中から3つまで選んで○を付けてください。)		%		%					
		7月	昨年7月	1年	2年	3年	4年	5年	6年
ア	学習指導 (わかる満足感 進んで学ぶ意欲 自分で学ぶ力 いろいろなことへの興味・関心の高まり 等)	83.3	79.6	88	89	82	67	100	78
イ	豊かな心の育成 (あいさつ等の礼儀 自主・自立 思いやりの心・親切 善悪の正しい判断 ねばり強さ 等)	68.5	83.3	75	89	36	89	75	56
ウ	体力向上 (運動の楽しさ 技能の向上 記録に挑戦など)	63.0	55.6	50	56	64	67	88	56
エ	文化活動 (朗読や演劇 歌や楽器 絵や工作 等)	11.1	0.0	13	11	9	11	13	11
オ	健康・安全教育 (生活リズム 食育 性教育 薬物、たばこ・飲酒等の学習 防災教育 等)	13.0	3.7	0	22	9	22	0	22
カ	体験活動の充実 (見学、観察学習、インタビュー等)	20.4	25.9	38	11	36	11	13	11
キ	地域学習 (ふるさとの人、文化、自然、伝統文化についての学習)	3.7	0.0	0	22	0	0	0	0
ク	社会や人々の仕事や営みについて(〇〇名人 地域でがんばっている方々の話等)	5.6	3.7	13	11	0	0	0	11
ケ	読書活動 (読書好きになる取り組み)	9.3	3.7	0	0	18	11	13	11
コ	ボランティア活動・手伝い	7.4	9.3	13	22	0	11	0	0

9月の予定

1	火	保護者面談（～4日）ALT	11	金	運動会	21	月	敬老の日
2	水		12	土		22	火	秋分の日
3	木	ALT	13	日	東部地区合同運動会（中止）	23	水	
4	金		14	月	運動会予備日	24	木	小体振陸上大会 ALT
5	土	P6年部会行事	15	火	クラブ活動	25	金	小体振陸上大会予備日 1・2年焼芋体験実生
6	日		16	水	クラブ活動	26	土	親子早朝作業
7	月	学校集金引落日	17	木	ALT 稲刈り	27	日	
8	火	ALT	18	金	壮行式	28	月	稲刈り予備日
9	水	総練習	19	土	添川読書の日	29	火	委員会活動 ALT
10	木	ALT 内科検診	20	日		30	水	創立記念式 ALT

【おめでとう】 第33回西置賜地区陸上競技選手権大会（7月25日）小学女子6年100m 第1位
塚田 ひより さん（記録 14秒60）

【ご 紹 介】 高橋 佐知子 さんが、令和2年度スクール・サポート・スタッフ（非常勤）として、
本日9月1日（火）より着任されました。本地区ご出身の方です。どうぞよろしくお願
いいたします。

<ミニコラム> 子どもの心とことばを育てるために（その5）

「アイメッセージ（私メッセージ）」について

私の場合ですが、家に帰ってから子どもに言いがちな言葉に、次のようなものがあります。「早く宿題をしなさい」「机の上を片付けなさい」など、これらの場合、隠れ主語は「あなたは」です。

教師として子どもたちに指示を出す時、よく次のように言います。「教科書の〇〇ページを開きなさい」「〇〇ページを音読しなさい」など、これらの場合も、隠れ主語は「あなた（たち）は」です。

つまり、どちらも「ユーメッセージ」で、親として教師としてある程度必要な言語指示ではあるけれど、ダイレクトに命令されている印象は否定できません。

これに対して、隠れ主語を「私は」にして話す言い方を「アイメッセージ」（私メッセージ）といい、自分の気持ちを相手に伝えやすい方法です。カウンセリングの神様カール・ロジャーズの弟子の一人トマス・ゴードンが「親業」「教師業」の中で提唱したコミュニケーションの方法です。

例えば、「ゴミを捨ててきなさい」というユーメッセージの言い方は、アイメッセージに変換すると「ゴミを捨ててきてくれると助かるよ」となります。「助かる」という自分の気持ちを表しただけなのに、その要望を叶えてあげたくなります。

「うれしい」「安心だ」「助かる」だけでなく「悲しい」「寂しい」「悔しい」などのネガティブな感情も伝えやすくなります。相手に対して感情的にならずに、自分の感情を伝えることができるのです。したがって、アイメッセージは子どもをほめる時だけでなく叱る時にも使えます。

運動会が近づいてきています。私も、娘に「お父さんは、みなみが運動会で自己ベストで走ったことが、何よりもうれしいよ」と言おうと思います。（自己ベストが出なかった時は、また考えます。）

大げさな感情表現はなくても伝わります。子どもの小さな一歩、小さな成長を見つけて、「お父さん（お母さん）は、うれしいよ」と伝えてあげてください。自然な笑顔を添えて。